



PTA会報

蒼天の翼

第20号

PTA 調査広報委員会

2008. 12. 10

題字 小野早百合



挨拶

PTA会長 片岡 淳

今年も天候に恵まれた本校文化祭「千仰祭」に大勢の皆様に来場して頂きまして、ところから御礼申し上げます。生徒達の日頃の学習や生徒会活動の成果、そして部活動の発表と楽しんで頂けたでしょうか。家庭では見せる事の少ない生き活きとした学校生活を直接感じて頂けたなら幸いです。更に来場者数は昨年よりも大幅に増えたと聞いています。「千仰祭」が学校やPTAの関係者のみならず地域の皆さんのイベントとして定着し、大勢の皆様にお越し頂けることを期待します。

さて、先日山形で東北地区シンポジウムが開催されました。山形大の鈴木教授の基調講演「豊かな体験が子どもを育てる」では、道徳観や正義感の強い子供に育てるため(育つため)に必要な条件として三つ挙げていました。①生活体験の豊かな子②家庭での体験の豊かな子③自然体験の豊かな子だそうです。この三つの事柄を通して、外部(自分以外の人間やルール)から律せられるのではなく、自分を内面から律する事の出来る子供に育つのです。この三つの体験がとても重要な事で、これが少ないと今日のIT社会の悪い部分や闇の部分に影響を受けやすい人間に育つのです。これからは社会のIT化は益々進むでしょう。その環境のなかで正しい道を進むからを育むために体験が必要になるのです。そして私が一番強く共感した言葉が、「子供は親の背中を見て育つ」のだから親は胸をはって見せられる背中ではなくて「いけない」という言葉でした。果たして皆さん如何ですか？子供に見られていると意識した事がありますか？今からでも遅くはありません、背中を見せられる親になりましょう。

最後に、日頃からPTA活動にご協力頂きありがとうございます。これからの皆様のご協力、ご指導を賜りますようお願いして挨拶と致します。